

団体名 紙人形劇団ネリノ (宇部市)

代表者名	谷本 和子	団体の目的 ・絵本の心を子ども達から大人までたくさんの人に伝える ・上演をとおして地域と交流し、「紙人形劇」を県下で広く伝えていく
構成員数	6人	
設立	H20年8月	
問い合わせ先	☎090-7137-4297 (谷本)	

事業名 絵本の心を伝える紙人形劇の制作・公演活動とふれあい活動の充実

- 事業の目的**
- ・紙人形を制作し、紙人形劇をとおして絵本の心をたくさんの人に伝える
 - ・観る人の心に響くような公演をめざすとともに、多世代と一緒に紙人形に親しんでもらえるよう、公演後、紙人形に触れたり動かしたりしてもらい、交流を図る

- 事業の内容**
- ①紙人形劇の制作
 - ②定期公演「第9回サマージョイント公演 2017」の開催
日時：8月26日(土) 14:00 場所：フィッカルあじす(山口市)
内容：山口金管アンサンブルとの合同で紙人形劇と金管楽器によるコンサートを実施。紙人形劇は「チoppのきつね」「きみはほんとうにスキだね」を上演
参加者：173人
 - ③紙人形劇ふれあい訪問公演
日時：10月29日(日) 10:00 場所：宇部市立図書館(宇部市)
日時：12月3日(日) 13:00 場所：児童養護施設「山口愛児園」(山口市)
日時：12月9日(土) 14:30 場所：高齢者施設「エルスマイル防府」(防府市)

- 事業の成果**
- ・人形劇を見られた方は、素の喜びを体中で表しておられ、子ども達から高齢者まで幅広い年齢層に絵本からのメッセージをしっかりと伝えることができた
 - ・これからも絵本の心を伝える紙人形を制作し、その劇が観る人の心に残るような公演を目指して前進していきたい

活動現場レポート! 高齢者施設へのふれあい訪問公演 (H29.12.9/エルスマイル防府)

この日は、当会にとっては初めての試みとなる高齢者施設へのふれあい訪問でした。

演目は「チoppのきつね」。幸せに暮らしていた4匹のキツネ家族が、心無い人間の身勝手な猟で殺されてしまい、寄り添って亡くなった母と子どもたちのところに花が咲く、という切なくて悲しいストーリーです。高齢の方がどのような反応をされるのか、団員の方は心配されていましたが、劇の終了後には、舞台越しに「かわいいねえ、よしよし」と子ギツネをなでたり、「また来て」と団員と握手されている方もおられ、一安心されていました。高齢者のみなさんは絵本の世界に引き込まれ、満足されたようでした。

会では今後も、定期的な公演活動に加えて、このような小さな形の慰問公演も行っていきたいとのことでした。



迫真の演技に観客も釘づけ



貴重な舞台裏風景